

再開発後… 3次元画像で体験

熊本市の桜町・花畑
9、10日にイベント

熊本市は、桜町・花畑地区の再開発後の風景が疑似体験できる立体映像を作成し、9、10の両日、同市中央区の花畑広場（仮称）でお披露目する。歩行者空間「シンボルプロムナード」など一帯を歩いた気分になってもらい、街路樹やベンチの設置などの意見を募るのが狙いで、体験を呼び掛けている。

2月に示された素案を基に、崇城大などが3次元画像を制作。同広場にある「まちづくりテラス」で、パソコン画像を壁に投影する。パソコンを操作することで画像の中を移動したり、周辺を眺めたりすることも可能。市都心活性化推進課は「整備後の街のイメージを膨らませてほしい」と話す。広場では、イベント「春のくまもとを楽しもう」も開催。琴など和楽器の演奏や野だて、生和菓子の実演販売などがある。

（石本智）



パソコン上で立体映像化された再開発後の桜町・花畑地区。正面に見えるのが桜町再開発ビル
（熊本市提供）